

・個性豊かな人づくりと 文化を育むまちづくり

- 1．学校教育の充実
- 2．社会教育の充実
- 3．スポーツ振興の充実
- 4．文化の振興

第3章 基本計画

・個性豊かな人づくりと文化を育むまちづくり - 1. 学校教育の充実

1 - 1 . 幼児教育体制の充実

現状

- ・本町の幼児施設は、幼稚園と保育所が各1箇所ずつ設置されており、それぞれにおいて幼児教育・保育のニーズに応じた取り組みを行っています。
- ・少子化の影響により幼稚園の定員割れが生じています。
- ・保育年齢を3歳児、満3歳児を拡大して実施しています。

課題

- ・家庭環境や社会環境の変化に伴い幼児教育のニーズは多様化していることから、適切な対応が求められています。
- ・幼児教育における幼稚園と保育所のあり方について、検討することが求められています。

基本方針と主要施策

- ・次世代を担う子どもたちの幼児教育は重要であり、さらに少子化や多様化した教育・保育へのニーズに対応した総合的な幼児教育を推進するため、「認定こども園」を念頭においた幼保一元化に向けた体制づくりを推進します。

< 主要施策 >

施策項目	主な施策
幼児教育体制の充実	・ 幼保一元化の推進 ・ 預かり保育の実施 ・ 保護者負担を軽減する補助制度の継続

幼稚園の状況

(平成20年5月1日現在)

敷地	建物	定員	園児数	職員数	施設内容	開設年月日	所在地
4,676㎡	717㎡	90人	3歳児12人 4歳児12人 5歳児21人	5人	普通教室4、職員室1 特別教室1 遊戯室1	S48. 4. 1 新園舎 S49. 8. 1	北4条2丁目

[資料] 学校基本調査

1 - 2 . 義務教育体制の充実

現状

- ・本町における義務教育施設は、小学校6校23学級、中学校2校9学級が設置されており、その学校・地域の特徴を活かした教育活動を行っています。
- ・少子化の進行や人口流出等の影響により、児童・生徒数は減少する傾向にあります。
- ・地域に根ざした教育活動を推進するため、保護者や地域と連携を図り、学校評価や学校評議員制度の活用により、開かれた学校づくりを推進しています。
- ・遠距離通学児童・生徒への対応や、学習活動の充実を図るため、スクールバスの運行を行っています。
- ・国際的な視野を広め、外国語に触れる機会をつくるため、外国語指導助手（ALT）の活用を行っています。
- ・心身に障がいをもつ児童・生徒や学習障害（LD）・注意欠陥多動性障害（ADHD）・高機能自閉症児童・生徒への支援のため特別支援員を配置しています。

課題

- ・今後の児童・生徒数が減少傾向にあることから、その現状を踏まえた取り組みが求められています。
- ・義務教育の多様化・複雑化したニーズへの適切な対応が求められています。

基本方針と主要施策

- ・児童・生徒数が減少していくことを踏まえ、地域の実情に応じた学校の適正配置に向けた検討を図ります。
- ・地域に根ざした魅力ある学校づくりや教育活動に対する取り組みの推進を図ります。
- ・教育基本法や学校教育法が改正され、それを踏まえた学習指導要領の改訂にあわせ、これらの多様化・複雑化した義務教育ニーズに適切に対応できるよう教職員の資質能力向上に向けた取り組みの充実を図るとともに、教職員の福利厚生などの生活環境の充実に努めます。
- ・障がいをもつ児童・生徒の自立や社会参加に向けた適切な指導や取り組みができるよう支援を図ります。
- ・学校職員評価制度を導入し、学校職員の資質向上と学校の活性化を図ります。

< 主要施策 >

施策項目	主な施策
学校体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ スクールバスの運行継続 ・ 一学級当たりの児童、生徒の定数減の要望 ・ 地域の実情に応じた学校の適正配置の検討 ・ 指導主事の配置 ・ スクールカウンセラーの配置
地域に根ざした学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童、生徒の健全育成と非行防止活動の充実
国際理解教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童、生徒、教職員の国際的相互交流機会の推進 ・ 外国語指導助手（ALT）による国際理解教育の充実
障がい児教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援学級の充実 ・ 特別支援員配置の継続 ・ 特別支援教育連携協議会の適正な活動推進
教職員の資質向上と福利厚生 の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道立教育研究所等への参加支援 ・ 町教育研究会やサークル等への支援 ・ 学校職員評価制度の導入 ・ 勤勉手当制度の推進 ・ 教職員住宅の計画的な整備

1 - 3 . 義務教育施設の整備・充実

現状

- ・義務教育施設の校舎、体育館及びグラウンド等の老朽化が目立ってきており、計画的な整備を行っています。
- ・情報化社会に対応するため全学校におけるコンピュータ機器の整備及びインターネットの導入がされています。
- ・学校給食センターの老朽化が進んでいる状況となっています。
- ・学校周辺における植樹や花壇の整備など、地域にやさしい教育環境の整備を行っています。

課題

- ・老朽化した教育施設の計画的な整備が求められています。
- ・小規模校の閉校後の有効活用が課題となっています。
- ・学校給食センターの整備に関しては周辺自治体との連携が求められています。
- ・コンピュータ等の機器整備後の計画的な更新が求められています。
- ・視聴覚教材のデジタル化への対応が求められています。

基本方針と主要施策

- ・義務教育環境の根幹となる校舎、体育館等の教育施設の老朽化を改善するため、地域の実情や老朽化の進行などを勘案しながら、効率的かつ計画的な教育施設の整備を図ります。
- ・情報教育の充実を図るため、インターネットの高速化の推進やコンピュータ関連機器やソフト等の計画的な更新を図ります。
- ・学校給食は、児童・生徒の健康的な発育に資するとともに、食育の役割を担っていることから、学校給食センターの大規模な改修については、周辺自治体、関係機関との調整・検討を図ります。

< 主要施策 >

施策項目	主な施策
学校施設の整備充実	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽施設の計画的な改修と小規模校の適正配置 ・浜頓別中学校グラウンドの整備 ・視聴覚教材のデジタル化への対応
情報教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ機器等の教育資材の充実 ・インターネットの高速化の推進
地域にやさしい教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・学校周辺の植樹、花壇の整備
学校給食センターの整備充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食センターの整備充実

第3章 基本計画

・個性豊かな人づくりと文化を育むまちづくり - 1. 学校教育の充実

学級数・児童生徒数等の状況

(平成20年5月1日現在)

区分	学校名	へき地 級数	児童 生徒数	学級数	教職員数		教室数		教員住 宅戸数
					教員	職員	普通	その他	
小学校	浜頓別	1	157	10	18	3	10	8	8
	頓別	1	23	4	8	1	4	4	4
	豊寒別	2	8	3	4	1.5	3	3	3
	斜内	3	7	2	4	1	2	4	3
	下頓別	2	4	2	3	1.5	2	4	3
	宇曽丹	2	6	2	3	1.5	2	3	3
小計	-	205	23	40	9.5	23	26	24	
中学校	浜頓別	1	106	6	17	3	6	8	13
	下頓別	2	7	3	7	1.5	3	8	6
小計	-	113	9	24	4.5	9	16	19	
合計	-	318	32	64	14	32	42	43	

[資料] 学校基本調査、教育委員会

給食センターの状況

(平成20年3月31日現在)

敷地	建物	職員数	施設内容	開設年月日	所在地
992㎡	264㎡	11人 (兼務2)	調理室1 食品庫1 事務室1 運搬室1 ボイラー室1 休憩室1 その他1 給食能力900食	S47. 4. 1	南3条4丁目

[資料] 平成20年度浜頓別町統計資料

. 個性豊かな人づくりと文化を育むまちづくり - 1 . 学校教育の充実

1 - 4 . 高等学校教育の充実

現状

- ・本町における高等学校は、北海道浜頓別高等学校において普通科2学級、商業科1学級が設置されていましたが、近年の中学校生徒数の減少から北海道教育委員会が平成19年度に策定した「公立高等学校配置計画」において、浜頓別高校の商業科1学級が平成20年度から募集停止となりました。
- ・浜頓別高校では、本町の歴史や産業の学習、奉仕活動などの地域の特徴を活かした教育活動を行っています。

課題

- ・生徒数の減少に伴う現行間口の維持に向けた取り組みが求められています。
- ・地域特性を活かした特色ある教育活動が求められています。

基本方針と主要施策

- ・少子化の進展による生徒数の減少傾向は今後も進むことが予測されることから、関係機関と地域社会が一体となった浜頓別高校の教育環境維持に向けた取り組みの推進を図ります。
- ・魅力と活気ある高等教育の充実を図るため、地域の特徴を活かした教育活動の充実に努めるとともに、高校施設の計画的な整備充実に努めます。

< 主要施策 >

施策項目	主な施策
高等学校教育体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特性を活かした魅力ある高等学校づくり ・浜頓別高校の教育環境維持への支援継続
高等学校施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・浜頓別高校グラウンドの整備要望

新規卒業者の進路状況

区分	総数 A	町内就 業者B	町外就業者			進学者	その他	町留率 B / A
			道内	道外	計			
平成15年度	91	9	14	1	15	66	1	9.9
平成16年度	107	7	19	0	19	74	7	6.5
平成17年度	91	7	12	0	12	64	8	7.7
平成18年度	77	2	21	0	21	51	3	2.6
平成19年度	61	2	12	0	12	44	3	3.3

[資料] 浜頓別高等学校

2 - 1 . 社会教育体制の充実

現状

- ・本町では、「第8次浜頓別町教育推進計画」(まなびプラン)を平成18年度に策定し、そのパンフレットを全戸に配布し、生涯学習の意識の啓発に努めています。
- ・家庭教育の支援として通学合宿やブックスタート事業などを実施しています。
- ・青少年教育における地域資源を活用した学習プログラムの設定、高齢者教育における学習機会の提供、社会教育関連団体への活動支援などを計画的に実施しています。

課題

- ・社会教育のニーズは、多様化・高度化する傾向となっており、そのニーズへの対応が求められています。
- ・生涯学習・社会教育の推進における関係団体間の連携が求められているとともに、指導者等の人材の確保が求められています。

基本方針と主要施策

- ・生涯学習社会における多様化した学習ニーズに対応できるよう学習機会の提供充実を図るとともに、団体・サークル等における地域の資源・素材を活かした学習活動への支援充実を図ります。
- ・学習機会や活動の情報提供の充実に努めるなど、社会教育のネットワークづくりへの支援充実を図ります。
- ・地域住民等による学習の成果を活用した学校等における教育活動の機会の提供を図ります。

< 主要施策 >

施策項目	主な施策
<p>社会教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習意識の啓発 ・子ども会、少年団等の育成 ・成人教育への支援充実 ・家庭教育の充実 ・魅力ある学習プログラムの設定などの学習機会の提供充実 ・放課後の子どもの居場所づくりの推進 ・地域の教育力の再生の推進
<p>指導者の確保と育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育関係機関・団体の活性化と連携・交流の推進 ・指導者の計画的な確保と発掘・支援 ・社会教育主事等の適正配置

. 個性豊かな人づくりと文化を育むまちづくり - 2 . 社会教育の充実

2 - 2 . 社会教育環境の充実

現状

- ・本町では、図書館、郷土資料館、青少年会館、多目的アリーナ等の社会教育施設が整備・配置されています。
- ・学校施設を社会教育の場とする学校開放事業を実施しています。
- ・図書館事業として読書コンクール、巡回文庫等を実施し、読書活動の推進・普及を図っています。

課題

- ・厳しい経済情勢のなか社会教育の拠点づくりが求められています。

基本方針と主要施策

- ・既存社会教育施設の有効活用を図りながら、学校が地域コミュニティ活動の拠点となるように学校施設の開放推進を図ります。
- ・図書館は、生涯学習における知の拠点としての役割を担っていることから、図書館機能の充実を図ります。

< 主要施策 >

施策項目	主な施策
社会教育の拠点づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・既存社会教育施設の有効活用 ・学校施設の開放推進
図書館機能の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館機能の充実 ・図書の充実 ・巡回文庫の継続実施

図書館の利用状況

区分	開館 日数	貸出者数 (冊数)				購入冊数			ビデオ 貸出数	お話 電話
		児童	中・高校生	一般	総数	児童	一般	総数		
平成16年度	299日	1,701人 (5,175)	707人 (1,394)	2,445人 (6,028)	4,630人 (12,597)	220	344	564	1,384	318
平成17年度	298日	1,899人 (6,432)	589人 (1,302)	2,941人 (7,196)	5,429人 (14,930)	238	395	633	1,789	25
平成18年度	297日	1,760人 (5,849)	401人 (988)	2,782人 (7,399)	4,943人 (14,236)	214	451	665	1,661	-
平成19年度	298日	1,699人 (5,304)	404人 (984)	2,793人 (7,990)	4,896人 (14,278)	212	451	663	853	-

[資料]平成20年度浜頓別町統計資料

3 - 1 . スポーツ振興体制の充実

現状

- ・各スポーツ団体やサークル等を中心とした各種スポーツ教室が実施されており、宗谷管内や道北圏における各種スポーツ大会の誘致を図っています。
- ・運動公園や多目的アリーナなどのスポーツ施設が整備・配置されているほか、学校体育施設の開放によってスポーツレクリエーションの場の提供を図っています。

課題

- ・スポーツ団体・サークル等の組織の弱体化やスポーツ教室における参加者の減少が課題となっています。
- ・近年のスポーツレクリエーションは、量的・質的にも多様化する傾向となっていることから、住民のスポーツレクリエーションのニーズを的確に把握することが求められています。
- ・既存体育施設の維持・整備が求められています。
- ・子どもの体力・運動能力の低下が続いており、早急な対応が求められています。

基本方針と主要施策

- ・本町におけるスポーツ振興の大きな役割を担っている各スポーツ団体やサークル等の組織強化の支援に努めるとともに、これら団体等が中心となった主体的な各種スポーツ活動の活性化に向けた相談体制の充実を図ります。
- ・住民の多様なスポーツレクリエーションのニーズに対応できるよう指導者の確保・育成を行い、魅力あるスポーツプログラムの充実に努めます。
- ・既存スポーツ施設の計画的な維持・整備と学校体育施設を有効活用し、スポーツレクリエーションの場の確保を図ります。
- ・子どもへの直接的な取り組みに加えて、保護者に対し子どもの体力や生活習慣の重要性についての理解を促すことに努めます。

< 主要施策 >

施策項目	主な施策
スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ参加の意識啓発 ・各種スポーツ大会の誘致 ・指導者の育成・確保と魅力あるスポーツプログラムの充実
各スポーツ団体・サークル等への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・各スポーツ団体・サークル等の組織強化への支援や相談体制の充実 ・情報の収集・提供 ・スポーツ傷害保険の加入促進
スポーツ施設の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ・既存スポーツ施設の維持・整備 ・学校体育施設の有効活用と利用拡大
子どもの体力運動能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意識啓発 ・地域社会への啓発 ・運動プログラムを親子で体験する機会の提供

4 - 1 . 文化財保護の充実

現状

- ・本町には現在、北海道指定文化財が1件、町指定文化財が4件指定されています。
- ・本町の文化財保護啓発活動は、郷土資料館を活用して行われており、文化財の公開も行っています。
- ・文化財保護思想の啓発の一環として、研修会等の開催に努めています。

課題

- ・文化財や史跡等の整理・管理を充実することが課題となっています。
- ・住民の文化財保護に関する意識が低いことが課題となっています。

基本方針と主要施策

- ・本町の貴重な遺跡や文化財等を後世に継承していくため、史跡や遺跡、動植物など幅広く文化財の指定を図るとともに、整理・管理を充実し、郷土資料館を中心とした保護体制の充実に努めます。
- ・郷土資料館を活用した文化財の公開や研修会の開催等による文化財保護思想の啓発に努めます。

< 主要施策 >

施策項目	主な施策
文化財保護の充実	・幅広い文化財の指定・充実
文化財保護体制の充実	・遺跡、埋蔵文化財用地の取得 ・郷土資料館の維持
文化財保護思想の啓発	・文化財の公開 ・研修会等の開催推進

文化財の状況

指定の別	名 称	所在地	指定年月日	種別
道 指 定 文 化 財	浜頓別クッチャロ湖畔竪穴群	浜頓別町クッチャロ湖畔68・69・70・71、堤防敷地	S41. 7. 7	史跡
町指定文化財第1号	ウソタンナイ砂金遺跡	浜頓別町字宇曾丹	H 3. 7. 1	史跡
町指定文化財第2号	山軽台地遺跡出土の遺物「細石刃核と細石刃」	浜頓別町字頓別原野4114-1 浜頓別町字頓別1328-3	H 6. 6. 1	有形
町指定文化財第3号	ポン仁達内遺跡の石刃核	浜頓別町字ニタチナイ4429-4	H 6. 6. 1	有形
町指定文化財第4号	コモチカナヘビ	浜頓別町（ベニヤ原生花園及びクッチャロ湖一帯（道立自然公園内））	H13. 6. 1	天然記念物

[資料]浜頓別町教育委員会

4 - 2 . 芸術文化活動の推進

現状

- ・ 本町では、10 団体で構成されている文化協会を中心に文化活動が実施されています。
- ・ 陶芸教室、新年書き初め会などの文化教室等が開設されています。
- ・ 芸術文化の啓蒙を図る一環として、音楽等の鑑賞会が実施されています。

課題

- ・ 文化活動への参加者が減少してきており、さらに参加者の固定化も課題となっています。
- ・ 文化活動のニーズが多様化してきているとともに、指導者の確保が課題となっています。

基本方針と主要施策

- ・ 芸術文化活動に対する住民ニーズを的確に把握しながら、質の高い地域に根ざした芸術文化活動を活性化させるため、文化団体・サークル等の芸術文化活動への支援充実を図ります。
- ・ 多様化する住民ニーズに対応できるよう文化活動の指導者の育成と確保の支援に努めます。
- ・ 演劇や音楽等に接する鑑賞機会の拡充に努めます。

< 主要施策 >

施策項目	主な施策
地域文化の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化教室等の充実 ・ 文化活動への参加意識の啓発 ・ 文化団体、サークル等の芸術文化活動への支援充実 ・ 文化活動指導者の育成と確保
鑑賞機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鑑賞機会の拡充 ・ 芸術文化意識の啓蒙